


# 注射針瞬間消滅器

～ 医療現場における針刺し事故ゼロを目指して ～



美らいず株式会社 

正しい知識を得ることが感染症対策の第一歩！ 予防には【SDGs】でも推奨されている衛生管理が大切

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、その予防や対策に関心が高まっています。そこでこの機会にぜひ知っておいてほしいのが、SDGs(持続可能な開発目標)でも目標の一つに掲げられている衛生管理の大切さです。世界でグローバル化が急速に進む中、世界的な感染症の流行を防止するには、どのような対策が必要なのでしょうか？

## 「注射針瞬間消滅器」でSDGsに取り組みます



医療体制の充実、ワクチン及び医薬品の研究開発を促進して感染症の拡大を防ぐ

注射針瞬間消滅器の効果

ワクチン及び採血時の注射針の処理における導線を確立し、安全に医療行為を行うことで針刺し事故をなくし医療体制を充実し、感染症拡大を防ぎます！！



廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用より廃棄物の発生を大幅に削減する。

注射針瞬間消滅器の効果

危険な状態で廃棄していたものを、安全に処理してから廃棄することで、針刺し事故を無くし、危険と隣り合わせだった廃棄物処理業者も安全に運搬でき、廃棄物も減容することができます！！



各国の国家計画やプログラムに従って、後発開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助(ODA)及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。

注射針瞬間消滅器の効果

過去に導入実績あります！！  
発展途上国ならではの医療廃棄物からの感染拡大防止のため。  
(ホンジュラスの母子医療の病院等)



感染症の予防、そして拡大した感染症の収束には個人はもちろん、国同士の協力体制を作っていくことが大切。

注射針瞬間消滅器の効果

身近な感染症から視線を広げて、世界で撲滅が目標されているHIVウイルス感染によるエイズやマラリア、結核、狂犬病などの感染症や世界の健康と福祉や衛生の問題にも使用できます！！

## 針刺し事故について

採血や静脈内注射など、看護師が患者さんに針を使って処置する場面は多いため  
どれだけ予防策を講じていても針刺し事故の報告は絶えないのが現実です。

絶えないどころか、**日本全体でも多くの針刺し・切創が生じているという報告もあります。**  
業務上の処置として頻繁に行うことに、多大なリスクがあると言えます。

「事故を起こしてしまった」など言いたくないといった気持ちもありますが  
自身の健康に影響しかねないことでもある事から  
医療現場ではいくつかのステップで対応しています。

ステップ1：とにかく落ち着くこと

ステップ2：混入しているかもしれない血を早急に体外に出すこと

ステップ3：ただちに上司へ報告すること

## ワクチン等の接種会場等での事故

コロナウイルスが世界的に猛威を振るう中、日本でもワクチン接種が始まりました。国民が2回の接種を完了するには、多くの医師と多くの会場が必要になります。その会場は、通常憩いの場である地域の公民館や、体育館などになっています。接種会場では、いつも違う勝手がきかない簡易的な場所であるため、接種する際に多くの危険と隣り合わせで行うことになります。

接種に使用される使用済の注射針もその一つです。現在、注射針の処理はリキャップをせずに専用ボックスに廃棄しています。勝手の悪い接種会場で、誤ってボックスを倒してしまうこともあります。鋭利な注射針の先端が残ったままは散らばってしまうことになり大変危険です。きちんと処理をしてから専用ボックスに廃棄することで会場の安全、医師や看護師の安全、接種する方の安全そして、廃棄業者の安全が守れます。



## 針刺し事故を起こしてしまった時の対応

### ステップ1：とにかく落ち着くこと

混乱して動揺すると、さらなる事故を起こしてしまう危険性があると言われています。患者さんの前であればなおさら、動揺を見せないよう心掛けているとの事です。

### ステップ2：混入しているかもしれない血を早急に体外に出すこと

刺した部分の周囲をつまんで血液を絞り出し、石けんと流水でよく洗い流すそうです。その理由として患者さんがHIV（ヒト免疫不全ウイルス）・HCV（C型肝炎ウイルス）・HBV（B型肝炎ウイルス）のキャリアだった場合は、当然感染のリスクがあります。

### ステップ3：ただちに上司へ報告すること

事故を起こしたときの状況だけでなく、患者さんの感染性、刺してしまった人の予防抗体の有無なども含めて関係者全員で情報共有したうえで、今後の対応を決めるそうです。事後の治療方法としては、HIVなら抗HIV薬の内服、HBVなら抗HBsヒト免疫グロブリンの投与を決まった時間や頻度で行います。HBCの場合は、いまだ治療薬が見つかっていないのが現状です。そして、治療後も1年くらいにわたって定期的に血液検査を受けていくことになります。



**何よりも予防が大切です**



針刺し事故の予防策として、手袋を着用する、リキャップしないなど様々な策が取られているようです。しかし、指先の感覚が鈍るため手袋を着用できないなど、問題点も多い。

処置後（患者さんから針を抜き取った直後）に直ぐ  
「針」が消滅すれば…どんなに助かるか…。  
でもそんな手品みたいな事できるはず無いわね…。



**手品みたいな事ができるんです！**

## 使い方は簡単



- ① 使用済みの注射器を挿入口にまっすぐ挿入します。



- ② ゆっくりと(1~3秒)下方に最下点まで押し下げます。

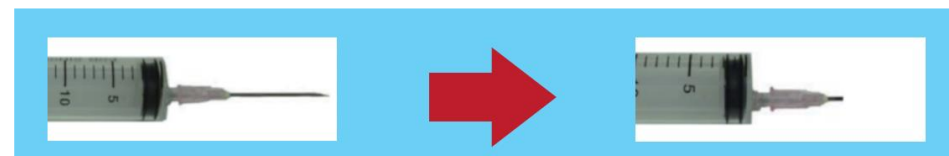


- ③ Finishedランプの点灯を確認し、ゆっくりと引き上げます。



- ④ 溶解した針先はダストボックスに集積されます。

注射針のメス状になっている先端が数ミリの長さに溶解され安全に破棄することができます。



注射針が溶解される事で、シリンダ内が真空化し、プランジャが簡単に抜けなくなる事で、シリンダ内に溜まった血液や体液が流出する事も防ぐ事ができます。

## 特徴まとめ

### 瞬間殺菌・先端形状消滅

挿入口に使用済み注射針を挿し、押し下げるだけで1620℃の電気溶解作用により瞬時に殺菌します。同時に、先端形状が溶解により丸くなりますので「針刺し事故」を防ぐことができます。

### 安心設計

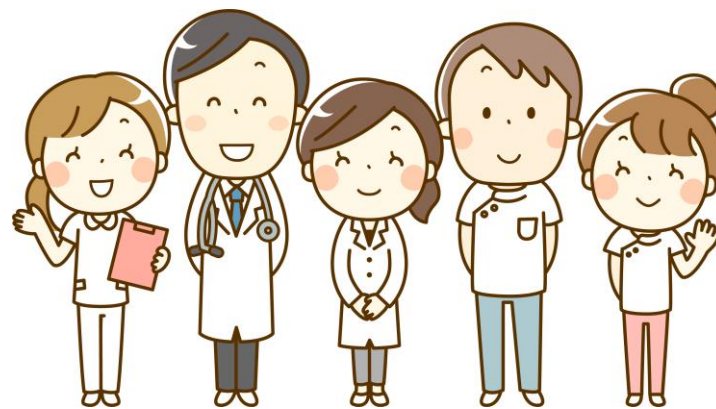
誰でも簡単に鋭利な注射針を安全、安心に処理できます。使用しないときは電気は流れません。ダストボックスに溜まった処理済みのゴミを捨てるだけでOK。医療廃棄物の処理時にも誤って先端が指などに刺さることはありません。

### メンテナンスフリー

基本的に電源スイッチを入れて操作するだけです。内部構造は耐久性のある素材を使用していますので、ほぼメンテナンスフリーでお使いいただけます。基本的に壊れません。（内部電極部摩耗時は部品交換で対応）

### 軽量・コンパクト設計

軽量コンパクトで持ち運びも楽ちんです。女性の方でも軽々と持ち上げられます。したがって診察、回診時の移動もスムーズです。







近年、医療現場に於ける使用済み注射針による「針刺し事故」が騒がれています。  
針刺し事故による医療現場の二次感染を防ぐために、鋭利な針の先端を瞬時に、かつ安全に処理できます。  
8月30日は「針刺し予防の日」に制定されています。  
今、最も注目されている画期的な装置といえます。

**安心・安全に針刺し事故ゼロを目指して下さい！**